

令和元年度第2回阿南町総合教育会議議事録

日 時：令和元年12月23日（月） 13時00分から16時00分

場 所：阿南町役場委員会室（3F）

令和元年度第2回阿南町総合教育会議次第

- 1 開 会 総務課長
- 2 あいさつ
 (1) 町長
 (2) 教育長
- 3 意見交換
 教育環境のあり方検討委員会答申の状況と今後の考え方について
- 4 懇談
 令和2年度予算編成について（お願い）
- 5 閉 会 総務課長

《出席構成員》

町 長	勝 野 一 成
教育長	南 嶋 俊 三
教育長職務代理	林 一 仁
教育委員	猪 切 信 子
教育委員	大 倉 康 生

《欠席構成員》

なし

《事務局》

総務課長	勝 又 司
総務課行政係長	南 島 剛 志

《出席職員》

教育委員会事務局長	岡 田 六 久
〃 子ども教育係長	村 山 俊 行
〃 社会教育係長	佐々木 達 也

1 開 会

○ 勝又総務課長

こんにちは。みなさまご苦労さまでございます。ただ今から令和元年度第2回阿南町総合教育会議を始めたいと思いますのでよろしくお願いします。まず初めに町長のあいさつから

お願いします。

2 あいさつ

○ 勝野町長

改めましてこんにちは。本日は第2回総合教育会議ということでご苦労さまでございます。教育環境のあり方ということでご意見を頂く訳でございますが、ひとつよろしくお願いしたいと思います。簡単ですがあいさつとさせていただきます。

○ 勝又総務課長

ありがとうございます。続きまして教育長さんあいさつをよろしくお願いします。

○ 南嶋教育長

どうもご苦労さまでございます。年の暮れのお忙しい中、この総合教育会議に時間をとっていただいております。ありがとうございます。近年、学校にかかる経費につきましては、ご存知の通りICTをはじめエアコン等の問題でハード面で、非常に充実したものを考えて付けていただきまして、ホントに感謝申し上げたいと思います。特に学校につきましては、町長がご判断いただきまして、早めについて学校側も感謝しているところです。ICTにつきましても、徐々に整備されてだんだんつきつつあるところでありますが、中身のプログラミング教育につきましては、本年度から各学校が県教委から講師を招いて、講習会・研修会をやっているところです。無駄のないようなICTの活用をしまいたいと思っています。そして来年度から新学習指導要領が始まるわけでございます。小学校におきましては、外国語教育ということで日本では主に英語教育が行われているわけですが、その外国語教育・英語教育につきましては、3・4年で英語活動という訳でございます。5・6年になりますと今度は英語教育ということで、こんどは教科が入ってくるということになる。そんなところも考えながら、阿南町も特に阿南町ならではの英語教育をということで、今年度「阿南町英語教育研究委員会」というのを教育委員会からお願いしまして立ち上げまして、学校の代表者が一名ずつ集まっております。英語教育について研究していただけるということです。特に阿南町の英語教育の特色を出すために何をするかということで、研究会にお願いをしたわけですが、その特徴を出すために、保育園から小学校・中学校と接続を持って英語教育をアピールしていきたいと思っておりますし、英語教育の保育園・小学校・中学校への英語教育のグランドデザインというものを、研究会で1・2年かけて作ってもらいたいとお願いしているわけでございます。特に出ていく先生はわかっているが、入ってきた先生がその英語教育をどういう風にやっていったらいいかということで、すぐ取り掛かれるようなグランドデザインを作ってもらいたいと、こんなことをお願いしているわけでございます。そんなところでもまた経費が掛かるかもしれませんが、お願いができればというように思います。そして言うまでもなく町の発展は人づくりと、人はこれからの世代をになっていく子どもたちでございますので、ぜひ教育環境づくりをしまして、人づくりに資金的投資・支援をしていただければありがたいかなあと、こんなことをお願いすることでございます。このところいろいろな教育問題について、課題が山積みでございます。非常にご心配をかけて、給食の問題もありまして大変ご心配をおかけしているところでございますが、特に統合問題につきましてはこの後じっくり意見交換をして、一つの考え方・方向を出していけたらありがたいなと思います。そんなところで統合あたりも変わってきますけど、先日町長の方から総合会議について出た時に単位制・多部制というようなものの話が出てきましたし、それについて私もそう思う訳でございますが、子どもたちの生活リズムというようなものを、そしてまた人間関係の寛容を目的とした職業斡旋するような、そんな様な学校になってなんか今までの教育とは違うなあと、ちょっと首をかしげるようなそんな様なところでございます。まあ高校の受け皿も大切でしょうけど、私どもが行っております保育園・小学校・中学校、そんな中での単位制・多部性に関わらないような子どもたちを育てていきたいなあ。そんなことを考えて、毎日取り組んでいるところでございます。課題は山積みかもしれませんが、いろいろ首長部局の方々にも相談に乗っていただいて、子どもたちのために教育を守っていききたいと思っております。今日は総合教育会議ということで、特に教育問題について意見交換していただきますが、時間的にもしっかりとありますのでしっかり議

論できますようによろしくお願ひしたいと思います。教育問題につきまして教育委員会で話し合うのは勿論でありますけれども、こういう総合教育会議、そしてまた首長部局の皆さんとも話し合うことができるように時間を取っていただければありがたいと、そんなお願ひをしまして少々長くなりましたがあいさつに代えます。

○ 勝又総務課長

それでは会議次第に沿って進めさせていただきます。3の意見交換に進めさせていただきます。着座にて進めさせていただきます。

それでは「教育環境のあり方検討委員会答申の状況と今後の考え方について」説明をお願いしたいと思います。

○ 岡田事務局長

それでは私の方から会議資料の説明をしまして、そのことについてご討議いただくことになるかと思いますが説明いたします。

＜検討委員会の答申についてのパブリックコメントと教育委員会の考え方 の資料に基づいて説明＞

○ 勝又総務課長

それでは質問等ございましたらお願いしたいと思います。

【意見】

- それでは私の方から質問させてもらってもよろしいでしょうか。(はい。) 3ページの令和2年1月～2月の町民への説明なんです、具体的にどういう風に進めるかということ、令和2年度～令和4年度中学校統合準備委員会による準備と、こういう計画でおるようなんですけれども、この1月～2月の間の説明は、準備委員会のことも説明するのかどうか。パブリックコメントも取って尚且つ説明もしてきたのに、どういう説明をするのかと思って、その辺のところなんです。

- じゃあ私の方から、令和2年1月～2月の町民の説明ですが、ここで方向性が出たり一つの考え方が出たらその説明を、形としてはこんなことを考えていますが、またご意見をお伺いしながらと思っていますが、一応説明会を町全体で1ヶ所でやって、その反応を見ながら各地区を回る、4つの地区を回ると言うように。それから準備委員会ですが、このことに関して町長の考えがあると思いますので、その考えに今回の総合教育会議でまとまったように、準備委員会は出す出さない、方向性・考え方を述べて行きたいなと思っております。

全体の考え方の⑥については、教育委員会としてはこんな方向で考えたらという意見で上げてある訳です。

- そうすると、町民の方の説明の時には、令和5年4月1日の時に統合をするんだという踏み込んだ説明はしないということか。

- いや。ここで町長がそこで出してもいいよとなれば、出していきたいと思うけども、ちょっと時期早々だなと言ったら、統合は考えているんだけども時期はちょっと待ってくださいという感じで出していきたい。

- そうすると、3月の町長による判断というのはどういう判断になるのか。今町長に意見を聞いておけば、3月の判断というのは、令和5年4月1日に統合でいいということか。

- そういう判断になるのか、時期早々で時期についてはもうちょっと待てということか、統合というのは教育委員会ではそういう判断になったが、町としてはどういう判断を頂けるかなという事です。同じような考え方で統合でということで、ただ時期だけは時期早々

で待ってくださいという事でいきたい。

- そうすると今日の町長の判断というのは、こういう進み方でいいかどうかということか。
- そういうことですね。委員の皆さん。
- 町民への説明会も、一つにはやるかどうかということ、先ほど課長が言うように。ここまで何度も説明会をやって、パブリックコメントもとったから、ほんとに次の段階の説明会が必要かどうかという事なんですけれど。このパブリックコメントを見ると、地区は非常に限られてはいるんですけども、極度な反対意見があれば積極的な意見もある中で、このパブリックコメントに対しては、これだけ反したものが並んでいると、教育委員会としてはこれに対してこういうふうな意見を持ちましたという説明をどっかでやらないと形にならないかなと考えたのが一つです。それで説明会を年が明けたら、今日の打ち合わせの中でこういうふうに説明をやりと内容を決めて戴いてそれでやろう。最終的にはやはり先々のことを考えると、今年度中には「統合はしましょう。」というところくらいまでの判断までは、教育委員会だけでなく行政も含めて、町としての一つの判断として決めたいなという思いで、ここにたたき台を作ったという事です。
- 先ほど全地区で説明会と言ったんですけど、必要なのは新野での説明が一番必要だと思うんですけど、1回やってみて集まらなかったから次回召集となると、もう日が定まらないのかという感じがするのと、説明会なのか、説明及び話し合いなのか、その辺は説明だけで一方的にこうなんですよと終わるのか、その場で返事が伺えるのかその辺はどうでしたっけ。
- その辺は「意見交換会」ということです。
- 非常に町長も迷うところなんだけど、私の気持ちとしては今説明した通り、統合の方向でお願いしたい。期間的にはこういう期間でお願いしたい。と言うつもりなんだけど、前から町長がおっしゃっている通り、合意がないとなかなか難しいとなる。その合意がどのくらいかというのが難しいところで、私の場合に最終的には全てが、100%というのはありえないと思いますので、ある程度のところで町長判断で、統合するんだと言っていたければありがたいなということ。それが今、職務代理が言っていたいた、地区をもって回る意見とすれば強みかな。町全体でという単なる教育委員会だけでない。
- そうすれば、町民への説明という事で猪切委員さんからも出たんですが、一番は新野地区という事です。
- とは言うものの、新野以外の地区もあるので、それは一通り4地区でこういうふうだと説明する機会は無きゃいけないと思っている。
- 新野地区も問題なのは率直に言うと、誰の声をとったらいいのか、どのグループを説得すべきなのか、それとも説得すべきではないのか、しなくていいのか。そのあたりを判断していいのかというのがあって、できるものなら判断したいんだけど、なかなかそういう訳にもいかない。そうすると新野のコンセンサスを一本でこちらからまとめてくださいと言っても、帰ってこないような気がする。
- この間の保護者懇談会だか意見交換の状況をちょっとお話ししてよ。
- たぶん個人個人ではいろんな考え方を持っていて、実際の保護者のことを聞くと、やはり「大勢のところに行かせたい。」という親の声なんですけど、いざこういう全体での話になると、こういう人たちは意見が出しにくい雰囲気がつくられていて、実際30人くらいの保護者さんと会議があったんですけど、やはり声を出す人たちは全部反対です。だけどメンバーを見ると子どもたちが中学生だったりで、もう実際には関わらない親御さん達の意見であった。ほんとに早く一緒になってほしいと思っている人たちが、ほんとに数人ではそういう意見が出せるんで

すが、声に出しにくい現状がある。だから実際の子どもたちも、特に小学校の低学年のお母ちゃんたちは来てなかったの、ほんとにその声を聴かないと6年後には全校が8人になってしまう現実が、やはり分かっているか分かっていないかというところだと思う。

それから私が個人的に何人かのお母さんたちに聞くと、もう送り迎えしてでも下に行かせたいという親がいっぱい。「言ったらどう。」と振ったんだけど、とても出せませんという雰囲気があった。今までの話し合いの中で、10年前にその方たちが関わっていたかどうか分からないんだけど、新野の総意として「統合反対だよ」というのがどこかで残っているので、自分の子どもに係わる親の真の声は出せないのだと思います。

それで逆に年配の人達の意見を聞くと、ある方が言ったのが、その10年前の話し合いの時に「何で大きい所に集約されなくてはいけない」というようなことを言った方がいて、ようするに何で新野から下に降りなきゃいけないかという、まずそこを納得させてから統合だよねとおっしゃった時に、返事が出来なかった。年配の方たちはその話を聞いた時に、箱としての学校が残るのが大事であって、目の前の子どもたちが8人しかいなくなることで、子どもたちにとって出会いがなくていいのかというところまでは考えが及んでいないので、そういうのも含めて新野の人たちに理解してもらおうというのはホントに至難の業だなという感じがします。

- 名前が聞き取り辛いんですけど、分かったらまた問題になると思うんですけど、保護者の衆は正直な所どうなんですかね。
- 私が保護者会が終わった後に外に出て話したのが、3人のお母さんと話をしてたんですけど、低学年と中学年のお母さんだったんですけど、いつもその人たちは一緒になって、交代で送り迎えをしてでも下に行かせたいよねいつも話をしているんだって。言ったんですよ。こっちがビックリするくらい。でもそうしないと、これしかないクラス、それにお母さんたちは危機感を感じている人たちがいて、中学なんて早く一緒になってくれればいいのにと云ってる声があります。だけど、この間の話し合いの時に、声を出した人たちは最後が中学生のお子さんという方達ばかりだったので、その人達は箱としての中学があることが大事だという方たちでした。そうしないと地域が廃れてしまう、それからお店もなくなって活気がなくなるといふ事をおっしゃってたので、箱が大事なんだと感じがした。
- いろいろな話しが出てきちゃうが、とりあえずAからGについて、こんなような教育委員会の考え方であるので、その項目AからGまでやってもらって何か質問があったりしたら、やって行ってもらえれば。
- はい。教育長の方からそういうことがありましたので、3ページは最後にという事で、「Aの話し合い・資料提供」というところで、これでいいかどうかご意見を頂きたいと思うんですけど、特に下の内容について。
- 一番大事なとこなんだけど、今の捉え方が色々あるんだけど猪切委員の言っていることも分かる。正にその通りだと思う。結局それが地域が廃れていくという話と、子供の教育が遅れるという相対すること。それがこっちから言わせてもらえば、子どもの教育が遅れるとかそんな話ではない。地域が廃れる方が強いんだわ。その思いが。そういった中では、今教育委員会が意見交換や説明を重ねてきて、委員全体の意見をまとめたのはいいんだけど、今これを観させてもらおうと、かなり地域の廃れについての考え方が、かなりきつい考え方だ。俺にしてみれば異様な話だ。それで今聞いてみて、こんな日程通りの話にもならんし、これをこういうふうに進める話にはならんと思って感じておったんだけど、そうした部分では並大抵なものではない。出ている意見を見ると。そういった中で今の考え方は考え方でいいんだけど、こうした日程の明示まではできないと思う。関係ないがこれは新野対、大下条富草和合の違いだ。簡単に言うと。一例を言うと、松川町で中の対立がえらい勢いで燃え上がったのは、現職の深津町長に反対する派閥があって、それが食いついて、それがメガソーラーから始まってああいふことになる。そして宮下今の町長が全然そういう衆とは関係ないんだけど、出た中でそれについてああいふ選挙結果になったが足りんという事で、追及の手を緩めずやっている。ところが今度なった町長は自分に身に覚えのない話で、それに振り回されている。だから自分の思っていたことができないという。4年後にはまたでかい2分するような選挙になるのは間違いな

いと覚悟しているけど、一例をとるとこれも似たような話だ。これまで硬直化してきついというのは。そういうことで、次に行くという話しができないな。そんなことをすれば、教育委員会も俺も仕事にならん。どうもそういう感じがする。

- だだパブリックコメントそのものが、反対の人の声が標記されているというか、逆に賛成の人が載せられてないので、実際の話と客観的な主観的な意見がいっぱい出て来て、あの会の中で声の大きい人たちの浸透で出して出してといった意見がいっぱいあるので。
- 分かるが、話し合いや意見の場はそういうものだ。出てこんものをそう思う水面下でああだこうだ言っても。今後何をやるにしても水面下を回って拾う説明会はできんし、結局はそおう言う話になる。特に民主主義の場は。それが相対した意見でもめたりする色とはこれは違う。そうするとそういうものをまとめ上げるというのは、簡単な話しじゃないなと思って。そうすると俺も任期が2年の中でこんな確約の話ができる話ではない。もっとはっきり言えば教育委員の人たちは一生懸命考えてくれるかもしれないが、住民の代表である議会もそういった考えがない。この向きになっていけばそっちよりの話になっちゃう。そうすると教育委員会と町長でそうしたものを敵に回して事ができるかと言ったら、それはできない。
- そうなんですかね。僕も政治的な所は分かりませんが、そんな難しい事ではないような気がするんですけど。それと町長はパブリックコメントは読まれたことはあったんですか。今読んだことではないですよ。
- 今ではない。教育委員会の考え方や指針はいいと思うんだけど、俺はそういうことだと思っている。下段に書いてくれた考え方はそういうことだと思っておるんだけど。これまで地域が強かったという意識は無かったな。こんな書き方はえっかんのことだ。
- ただ小学校が残るというのを頭に入れてなくて、学校そのものがなくなっちゃうと思っている人の意見も載ってたりするので、実際は小学校は残るし、学校がゼロになることはないの、そこら辺を伝えなきゃいけないと思うし、ただ去年のあり方検討委員会で2年間話し合った結果で答申を出しているの、その意見は大事にしていきたいというのは、新野地区だけじゃなくていろいろな地区から集まった方々で、検討委員会での話し合いをしたので、あの時真剣に、集まった人たちは統合賛成というスタートではなかったんですよ勿論。意見もあるかなにかわからない状態で、結局話し合いを進めて行く中で中学は一つにした方がいいと、全地区のあり方検討委員会の話なので、その意見というのは大事にされてしかるべきかなと思う。
- そういうことだと思う。俺は教育委員会の全体としての考え方や、こうした細かな下の考え方はいいと思うんだけど、それを具体的に今言うように、令和5年4月1日に統合することまでは言い切れないじゃないか。
- 町長がやると言えばそれで。
- それはそうかもしれないが、俺の立場に立ってものを考えれば、それでももうちょっと理解をした部分があつていいかと思うが、これは反対した人たちの意見だというのが、反対でも度合いが恐ろしいじゃないか。
- これだけ見てみるとそう思うが、人数を見てください。パブリックコメントを出したのは、34人いて24人が新野だ。それで出す人はみんな反対の人だ。それが載っているだけだ。
- 逆に言うと新野以外の住民は統合に対する興味とか意識がそんなにないという事だ。ですよ。別々でもいいし、一緒でもいいくらいの感じなんです。だから徹底的に反対の理由は様々あれど、新野が一つの地域としての存続を問われかねないという危機感みたいなもので、こういうのは出て来ている。
- ホントに6年後に全校が8人になってしまうことが、どれだけ子どもたちに、ホントに8人

で学校が成り立つのかどうかということまで、しかも売木とか天龍とか1つの行政の中に1つの学校だけならですが、阿南町は中学が2つある訳なので、全校8人で学校を、しかも中学に上がる時に新しい出会いもなく、保育園から12年間同じメンバーで、数人で生活することの良さもあるかもしれないんですけど、そうでない欠けてる部分というものを、ホントに大事にしてほしいんです。毎回言うんですけど、15歳で新しい人との出会い方がわからないまま、社会に送り出すというのは残酷なことで、やはりその前に出会いの場を作ってやりたいというのが統合することだと思う。

- そういうことだと思う俺も。この衆はそういう理屈じゃない。そうした理論や理屈ではない。理屈や理論を考えてわかっているならここまではしない、そういうことだから、それをひっくり返す事として、「今まで何もせずにいて何だと」いう方に転じてしまう。
- 自分が夏の新盆前にいろんな方と話をした時に、「子どもが人数が少なくてかわいそうだ。」と若い人達じゃなくて年配の人たちも思っている人達とも出会っているの。
- 何でその人たちはそういう意見を言ってくれないんだろう。
- そもそもその説明会に行っていないし、パブリックコメントも出すという、そこまで興味関心と言ったらおかしいんですけど、そこまで積極的にとみんなが思っている訳じゃないですか。私の感覚で行くと「少なくてかわいそうだよねとか、大変だよね。」という意見の方が多かったの、そこまで反対意見として盛り上がるのが逆にビックリするくらいだ。
- そっち派の方が恐ろしい多いという事だな。
- 説明会の時にですね。説明会の時は、反対の意見をもって参加されている人がいた。
- 反対の中は大きく分けて2種類あるんです。地域衰退という形と、それからもう少し違う面、教育というのは新野の学校運営にしろ教育にしろ、それは新野で考えますとかね、もう一つは少人数で良しとべきだという教育的意見の二つの流れがあって、意見が結びついて反対意見が出てきている。結びつくのは何かというと、「町は人口減少に対する手は打ってきたのか。」というところすぐ行く訳だ。そこがややこしいところである。ただ全員の町民の意見を○と×で出してくれと言ったら、たぶん圧倒的に○が多くなると思うんです。それを期待して町として方向づけていけるかどうか。最終的に町長が言ったように、説得しようと思ってもわかりましたということでも手の打ちようがないかもしれない。確かにパブリックコメントを初めて見て、特にAの内容なんて激烈な意見が並んでいますから。逆に言うとこれを読むと反発を感じるどころもうんとある。
- パブリックコメントの全体の感想としては、スチューデントファーストという言葉が出てきますけど、実際、子ども達にとってという意見が少ないような気がして、ただ地域ということだけで、その縛りの方が私は寂しかった。子どもたちにとってホントにそれでいいのとつくづく思う。8人なんてホントに単数ですよ、先生との出会いもないし。県費でくれないから町費で恐ろしく負担をして先生を連れてこなきゃなんないし、町費というのは正規の先生が良い悪いの言い方はおかしいかもしれないけど、やはり正規の先生が来てくれて、中学の8教科全員が来れないから、数教科の正規の先生しか来れないということから、子どもにとってその数年間は恐ろしいことになると思う。しかも高校をほぼ100%進学する時代なので、中学校の人との関わりプラス教科的なことや何やらというのが含まれて出てくればですが、そうでなかったの。
- 単なる地域衰退派で言う衆以外には、今言った少人数学級を大事にするというのはどういう考え方があるのか。
- 少人数だと数人で仲が良くて、友達も感覚それから仲良しこよしでやっているからいいじゃない、というところで終わっているんですよ。

- もう一つ、目が届きやすい教育をこまめにできる。というのもメリットの一つではないかというところへ話を持っていきます。
- だけどデメリットの方が正直多い多いんじゃない。
- 逆に言うとその人たちは、デメリットも多いと考えてない。
- そうです。だから少人数の方が絶対先生の目が入るという風に、そこしか見ていない。
- そしていい教育ができるというふうに信じて主張している人たちがいます。それが間違いないのかどうなのか、一概に否定しきれないところが難しい。逆に言うとそういうことでは無い教育がベターだと考える人は、そういった内容については極めて否定的な意見を持っています。
- もう一つが、この間町長さんお聞きになったと思うが、フクロセさんのやつね、要するに大人数の学校へは行けないけども、少人数の学校へは行けるというやつ。そういう親の考え方もある。小規模な学区へ来て子どもが生き生きしている。そういう話もありました。そういう方もあるということ。
- もうすでにおるということだ。 新野の二中へ通わせたいという人だ。
- その人はあえて和合が良くてきた人だからまた価値観が違う。新野の人達の価値観とは違う価値観で。あと新野はもう一つ伝統芸能が廃れちゃうというような、学校がお祭り主体に考えてくれなくなっちゃうんじゃないかという様なことを、たくさん言っている方がいらっしゃるんですけど、(そんなことはどうでもなるら。) そうです。 それは逆です。
- だけど学校はそれを主体に考えるところじゃないから、基本。できる限りのことは学校としても協力はするけれども、それがメインで教育が従じゃないからね。
- そういう風に新野の人達は思っていないくて。
- それもおかしい。 好きだよ俺。『すくいさ』も『高い山』も好きだ。踊れるし。好きだけどそれはちょっと違うと思う。
- お祭りが反対の原因になるのはちょっと違うと思う。
- それではすみません。まだ全体のところが残っていますので、次に6 ページ7 ページのC・D・Eのところでは何か。
- 教育委員会は皆で協議をして、この下のやつを決めてあるので私たちの意見としてなにもありません。
- わかりました。そうすれば8 ページのFのところ、役場の立場で申し訳ないんですが、人口増大対策って書かれておるんですが、人口減少対策としていただければと思うんですが、どう見ても今総合計画をやっている増加というのは難しい状態で、減少対策にした方が表現的にはいいのかなあと思ったことから、可能でしたら減少という表現を使っていただければいいのかなあという気がするんですが。
- そりゃそうだ。そういうような目でチェックしてもらっていただければ。
- これはあのIターンUターンは勿論だけど、山村留学はホントに取り組んで行けるの。実際に。
- 教育委員会で取り組むとすれば山村留学だ。IターンUターンは町で取り組んでもらう形と

なるかな。

- 一応計画では入っております。できるできないでなく目指したい計画ではおります。
- 山村留学は簡単にはいかないと思う。泰阜や売木の話を見ると、長く続くことはものすごく大変で、売木は自分たちでできなくて「はなまる」に頼んで多額の投資をして、おんぶにだっこという状態を見ると、山村留学と簡単に言うけど大変なことだ。
- 俺もそう思う。あれだけの小さい村でも専門の衆の面倒を見る夫婦がおったり、あれだけのことをやっている。言うは易しだが行うは難しでそんなに簡単な話じゃないと思うので、案じゃないかなということだ。
- 結局受け入れ体制が本当は大変で、売木もそうだったので。
- いいだが、ここでそういう話が出てくると、それに特化した話がさらに続きがでてくるに。
- この間の町長さんも出てたけど、和合の山村留学の話があったときには、多けりゃ多いほどいいというものじゃないんだって。年間に1組か2組が来てくれりゃそれで御の字だって。それ以上になると、逆に小規模校の良さが亡くなっちゃうのでいらないという話だ。こっちとしてもIターンやUターンや山村留学というのは、大勢来てもらうという形の組織なりを作ってやった方がいいとは思うんだけど、実際に扱っている人に見れば、和合あたりは特にそんなに来てもらっちゃ困るということらしい。
- そこが良くわかんない。
- たぶん同じ意識を持つ人に来てもらいたいということかな。
- それは数年のことで長続きはしないですよ。そこに居る人たちがそれでよしかもしれないですけど、じゃあそれで10年20年それで行けるのかといたら、そんな訳にはいかない。
- この間も小掠さんに言わせると、そういうようなものが引き継いでいって年間1人とか2人が来てもらえればいいんだって。
- 基本的に目的が違いますね。
- そうすると、ここでの「山村留学等」という表現は。
- どっちかというところでは人口を増やそうという意味を持った山村留学に近い山村留学だ。
- ただ新野は（人口を）増やそうという取り組みをどこかでやっているが。
- 個人的には絶対できません。やりたいというのと地に足が付いていないのでは。
- これはこれで載せといてもらって、こういう風に行きますよというのでいいんじゃないと思う。やってもらいたいんだ。一方の方ではIターンUターン山村留学の方の組織を作ってやってもらいたい。ただ中学校においてはある程度の人数の中で人間教育を含めてやってもらいたいというので。
- 国会答弁のようになるが、「山村留学等の検討も含め」とするといいかもしれない。
- 現実的に山村留学は和合でやっていることでもあるので。
- だから、こういうことになっているからそうした時に言うことになる。こういうとこ

ろに載せておいて案じゃないかなということな。それは行政として取り組むということだもんで、行政の方で主体になってそういうものを作って動いてく、いっしょになるかどうかは別としてやって行かんなんにということ。

- そしたら「Uターン等に取り組んでまいります。」にしちゃって、山村留学を削ったらどうか。
- 結構山村留学というのは重いような気がする。IターンUターンで家族で来てというのと違う。
- 泰阜の『だいだらぼっち』は、歴史は古いんだが、あそこを始めた衆があそこへ住み着いて、それから数年経ってはじめてから。だから行政でなかなか動けない所をやってくれとるんだが、こんど行政で構えんならんという事だに。教育委員会にしても何にしても。
- それでは山村留学というのは外して、「IターンUターン等をはじめ取り組む」ということで、等の中に含めるということはどうでしょうか。
- 町の今言う計画で、第6次だかでこういうものをうたってある訳か。うたってあるのはいいけど、ここに書いてある様に活動組織を地域・教育委員会や阿南町が一緒になってできる訳か。本質的に話としては。
- やって行かにゃしょうがないんじゃないか。検証するなかでは。その代わり受け入れ態勢をしっかりとしないとダメですよという意味合いも含めている。
- 俺の言いたいのは、一つの課に一人の係がおって召集がかかる毎に行ったり、会議に出たりのような優しい話ではない。徹底的にやるということになれば、組織化して事に臨めるかという話だ。二人配置にしろ三人配置にしろ、そういう形でないとこんなことはできん。片手間に総務課やそこらの担当や一人のようで、いくつもの仕事と合わせて、空き家対策と同じようにそうはいってもできんというならだが、それだけの望み方ができるかなということ。
- ただそういうものを6次計画にもここにも入れておかないと、全然町は動いてないじゃないか、やる気がないじゃないかというのが、一方ではでてくるという感じがする。
- それは国の言う事だから、そういうことを書かないと補助金をもらえないというから書くのであって、国が認めないという事だ。本当にそんなことを言っていて、やると言ったらやるという姿勢がなけにゃあ、そんなことにはなっていかに。教育委員会としてもそういうものを設置して臨むという考え方がありやいいが。
- 今言った組織とかは無理としても、金銭的な支援というようなわずかなものはできる。国の補助金があるか無いかだとしても、IターンUターンというのを何処かへ入れておかないと思う。6次計画の方だけだ。
- 町長の言いたいのは、ここで出すと教育委員会も自ずとそういう体制を作らないと大丈夫かという事だと思うんだけど。
- 地域と一緒にやってという事だから。
- 基本的にいっしょになってというが、それだけじゃだめですよ。もっと突っ込まれてきたときにやってますか、できますかということなんで、そこら辺だけだと思います。
- それはこの間の山村留学の話じゃないけど、そこら辺の話をどうやって行ったらいいか、やりたい方向はどういうことかと話を聞いたりしている。町長さんも聞いてくれている。

- それは分かるんだが、そういうことになりゃあそういうことで臨まんならんで、和合と相談をして、連携をしてとかいうことじゃないと思う。これを出すという事は。こんどはいつからそうなるのかいつから始める。というようになる。そういう具体的ところまで必要になってくる。こういう難しい問題は。教育長の言わんとする載せとかにゃあという事も分かるが、載せるということとはわかるが、載せるという事はそういう臨み方をするということだ。
- ただパブリックコメントに、山村留学なり人口減少を防ぐための方策は何かとってきたのか。これからとるつもりがあるのかという、そこら辺の意見がけっこうあったと思う。そう言うのに対する回答をどのようにして表現するかが難しい。
- そういう難しいやつに、そういった回答するのなら。目に見えて実施してかにゃいかんということになる。目に見えてそういうような動きがわかってこない、1年置いて2年置いてという話しにはならん。それをやるんだという腹をくくって踏み出していけばそれはそれでいいんだけど。
- どんな形にしるどこかへ表現しておかないかと思えたから、そこら辺をアドバイスしてもらえるとありがたい。
- 山村留学というのは、ちょっと今の段階では厳しいのかな。IUターンについては総務課や他の課でもやってあって、山村留学はそうでないと他の衆から反対されちゃうのかなと思う。
- 言わんとすることは分かるが、こうなってくると例えば信夫さんがやっておる話も、そっちとの調整はどうするのとか、相談に来いとか、そういう動きをやってかざるを得んと思う。それで一緒にやってやりましょうとか別々にやるとか、具体的に進めいかにゃならんという話しだ。それはそれでいいんだけど、徹底的にやるといえばやるで、俺はいいんだけど、ほんとにできるかなという話しだ。
- それじゃ意見が出ましたので、岡田さん、また検討してもらおうという事でお願いします。
- いえいえ、ここで決めてもらわなきゃ1月は無しになっちゃう。
- そうですか。それでは外す、入れる どうですか。
- 「IUターン・Uターン等で」 そうして、山村留学の話が出てきたらIUターンUターンの中に入っていますという。そういうことでどうか。
- よろしいですか。
- ついでに、人口減少対策の活動組織をの組織はいらないと思います。活動だけでいいと思う。組織だったら組織作りに取り組むとかにしないと、文章が続いていかない。それに下手な組織という言葉を入れると、組織をつくるのかつくらないのかという事が出てきそうになる。
- いつから複式になるんだっけ。(令和7年)
猪切委員さんがさっき言った8人ていうのは、今現在。
- 今の小学校1年生が1人、2年生が3人、4年生が4人なので6年後はそのまま行ったら全校8人。
- それでもいいというのがこういう衆かな。
- 自分のことではないから、その8人であるその親でないから。
- そういう方々は自分の子どもであっても同じ考え方だと思う。

- もっと極端なことを言うとその8人の衆は、ここに在住する？
- わかりません。こればかりは分かりません。
- それではすみません。よろしいですね。それでは今全体の考え方を飛ばしましたので。そうすれば教育委員会の考え方はわかりましたので。 町長。1月から2月の間に説明という事ですので、今言われたように令和7年4月1日より複式になってしまうという状況の中で、ホントにこれでいいのかというような説明を1月・2月にしてもらって、保護者の方のことを言うと、出て行っちゃう人もいられるかもしれないので、そういった内容の説明をして、特に新野にはしてもらって、その結果を踏まえて町長が判断、3月にできるかどうかはわからないんですが、この時点ではたぶん令和5年というのが、7年より2年前に準備していかなきや間に合わないという事で5年からという事にしたが、その辺も説明してその様子を聞く中でその会議をひらくのか、どういう。
- 議会の答弁でもさせてもらったけど、複式になったからどうのこうのというのじゃなくて、以前からの考え方として、ある程度の人数になったら考えさせてもらいたいと答弁をさせてもらったが、今言うように1月・2月で説明会をする。そこのところで引っかかって来るのが、教育委員会の考え方で行くのはいいんだけど、町はどういうふうに考えているのかと考えたときは答弁できないようではまずいので、「一応、総合教育会議でも一つの統合という方向で考えて行ったらどうかという話しをお聞きしております。」と持って行っていいかどうかです。それが非常に難しいとこなんだ。単なる教育委員会でやるという話しだけなら、ここへかける必要もないし、教育委員会で持って行って話をすればいいんで。
- 俺は統合すべきだと思う。それは変わらない。ただそう言うものをいつ・どう考えるかという事だと思う。今の実態を見る中で、そして今の複式があるという中で、それをいつというところまでは言い切れないなあと思っている。
- 町長の言うとおりでと思う。今最初におっしゃっていただいたように、「町長も俺もそういう考え方である。」という事を、説明会の時に言ってもいいかどうかということ。
- それはいいと思う。それはそうせざるを得んじゃないか。そりゃ山村留学で恐ろしい功を奏して、恐ろしいバタバタとくる話ではないと思うし、現実論として。Uターン・Iターンとか言って、それがボンボン来て学校へ入れてくれという話しには現実ならない。それは反対している人達も解っていると思う。本当にそうできるのかということ。現実にはできっこない、こんなこと言われたって。だけど、注目されているときだからそれを言って、それを追及されるようになったちゃらいにといいただけ。現実ホントに成功裏に収まってくる次元の話ではない。それはオラホだけの問題じゃない。それはみんな一緒だ。まだオラホの方が高齢化率が早いのとそういうことだ。全国で最も早いのが天龍村で、それへ続くのが南部の辺で、全国で県レベルで言うと長野県が早い方だという違いで、それは避けては通れない。
- はい。わかりました。ちょっと確認しておきたいんだけど。町長さん今おっしゃっていただいて心強いんだけど、必ず町長もそういう考え方かと電話とか何かで言われる。
- だけど今言ったようなことから考えて、努力して直せと言われてもできる話ではない。統合不必要ということ。俺自身がそんなことはできないと思っているし、努力はしにゃあ行かんけど、そういった中でできる努力もということがホントにあるのか、今言ったようなことをボンボン行ってそれができることか、それは俺一人でできることじゃない。第一やってもらふ衆が真剣に考えてもらわにゃ。言ったって「できません」とか、「やりません」とか言えば、時間ばかり経過していく話で、いろいろな所に食いつかれる話だもんで、そこな。
- 付け加えて確認ですけど、期間については下の3月以下については、執行部の思案中でございましてということで納めたいと思います。

- 教育長が回答したいつかというのが、これに近づいてくればという事であると思います。基本的に町長は統合を考えているという事で、よろしいですか。
- 阿南町という事なので、それで物を考えたときに、結局、阿南町が今の売木や根羽の状況になっている訳では無い。阿南町を一つとして考えると。だから中に中学が二つあるのをいっしょになって、もう少し教育を良くしていったほしいという話しなんだけど、こんなまとまりの無い難しいところは無い。それはこれだけの海拔の違いと、地の利・地形の違いで広範にわたっているところは、一つにまとまるということは難しいところがある。例えば新野で雪まつりやろうが盆踊りやろうが、他は関係ない。例えば深見でお祭りやってここで花火を上げても、新野では関係がない。それと同じでみんながそれぞれなので、みんなそうだと思う。それぞれ地域の思い入れやそういうものがあるから、余計にそういうことになるんだなあと思うんだけど、それは大事なことだとは思いますが、しかしながらそれを4つを1つにまとめましょうという話しになるとなかなかだ。
 ずっと考えてみたが、道路が折山議長の時に151が貫通したら合併だという事をよく聞くが、しかしそうではなかった。そういう意味で行けば大下条や富草は、峠を越えたところで割合一体的な感じが出来たのかなあと思うんだけど、やはり一回帯川に出てあの海拔へ這い上がった天空の城のひと平は、難しいところがあるんだなあと俺自身も新野だけど、そういう思いがする。俺も行政に入るとるのでそういう捉え方ができるんだが、あの地域で暮らしている衆じゃ、そういう考え方は成り立たんかもしれないな。
- もう一つ確認なんですけど、いろいろな人と話す中で、「金銭的な面を出してもらった方がいいよ。」というような話をチラホラ聞くので、要するに、財政面から言ってもそれは無理なんだよと、これだけ違うんだよと言われるので、このパブリックコメントにも出て来たけど、直接金がかかるので2校はえらいんだとか、こういうような教育に金を結びつけるのは良くないと思ったんだけど、一方では「金銭的な面で大変なんだよ」のようなことを、示してもらえるとありがたいというようなことを言っていました。ですので、村山係長にも調べてもらってはいるんですが、2校と1校でかかるソフト面やハード面を含めて。
- そういうことも解るし、資料として今後も必要な事だし、整えて行ってみてくんな。
 医療が後先になるか教育が後先になるかよくわからんが、医療も教育も同じようだが、今出て来ている難しい問題が、医療で診療所の継続問題だ。もう時代背景が違いうように、子どもが少なくなって来たのと同じことなんだが、医師も今の原先生や金先生がいなくなれば来る医者がおらんくなる。診療所なんか問題がいの話だ。そう言われたときに売木にしる阿南町もそうだが、医師の考え方もあるが、売木なんかは胃カメラが阿南病院並みに、のどからも鼻からも入れれるやつを整えて、1年に何人胃カメラをやるの。そして薬も医師の考え方で、すべての薬を整えてある。ほとんどが使えるわけでない。1日数人しか来ないのに。そうした時に使えない薬は賞味期限で全て破棄だ。当然機械も年数というか流行り廃れもあるので、莫大な費用を投下している。それでも医療は大事だという話しと、教育がそれでも大事だという話しと似たような部分かなあと思ってこの頃考える。だが今度医師の確保ができなくなればどうするのよという話しまでで出した。それを診療所をやっている先生からこんこんと言われている。
 それはそれで、そうやっても分かれにゃならんという話し何だかもしれんに。それはまた整理して言ってもらえりゃいい話なんだけど、今この時点でバーンと打ち出したりなんだりする、余計にそういうところへ、そう言う事を取り上げてまたご意見を賜る様になりゃせんかな。どうだら。
- 調べる分にゃ調べといてもらって、出す出さんは別として。
- 個人的には相当なレベルで早く知りたい。これから人口も減ってくれば納税額だってどんどん落ちていく中で、どこか切り詰めにゃならん。それが合理的にできるんだったら、学校の数を少なくするとか、そういったことも一つの手段として、考える策だと思います。
- 実際にスクールバスに回した方がいいとか意見が出ているので、スクールバスよりは維持費

の方が大変かかりますという感覚からすると、数字があった方がわかりやすいのかなと思います。

- 説得性が上がる半面、今言ったように反発も多くなります。そこを逆にこの金額でできるのかという意見が出るようになると思います。
- きっと大きな差は出てくると思うんだに。そりゃいいに決まっている。それだが難しい時に慌ててそれを、教育委員の皆さんは資料が出来次第頭に入れておいていただければいいと思うんだけど、この場で打ち出さん方がいいんじゃないか。この機会には。
- 全体の説明会とか地区の説明会の中でそういうような話が出てきたらということで、あえてこちらから言う事は無いということで。
- 出し方、出したあれだけはきちんと押さえて置かんと、単純でない場合も出てくるかもしれない。こういうケースの場合（条件）とかしっかり押さえておかないと。
- よろしいですか。次に4の懇談ということで、令和2年度予算ということでこれは何か。
- それでは私の方から。町長例年のごとくお願いします。

＜平成2年度予算編成について（お願い）の文書を朗読し、教育委員会から行政へお願いをする。＞

- 長寿命化計画は、教育委員会の施設もやっておるんだら。
- 町のその他の施設と合わせてやっています。
- これ屋根の修繕というのはどこだったかな。
- 町民会館です。錆が出ています。雨漏りは大丈夫だと思います。あと体育館です。
- 伝承センターは、中山間農地整備事業に入れれるという訳だな。
保育士の人数は足りておるんだな。
- 現在のところ人数的には足りている。
- 未満児が増えなければ。
- 人数的な加配とかはあれなんです、今度令和2年度から会計年度任用職員になりますので、町の考えは、フルタイムでなくパートタイムでというのが基本の考え方になりますので、その点承知をしていただきたいと思います。
- これ教育委員の皆さん方は、今の統合中学について、正直なところ統合が必要だと思っていることは分かるんだけど、正直なところどう思うか。実際のところ。例えば、もうここまで来て限界じゃないの、町として踏み出すべきだにと、何したって、進める話だにという考えがあると思うんだに。そうではない。ここで言う令和5年という難しいので、実際は分かっているけれど、それが出せないし、反対だという衆もなかなか強い人がおると思う。頭では分かっている。という衆も中にはおると思うんだに。そうして見たときに、落としどころだと思っている。どういうタイミングでどういう時期ということが大事じゃないかと思う。反対する衆も今回これをやったことで、今までずっとやってきたが、具体的に追い込まれてきたし、そういった状態になって来たぞという声があると思う。そうはいってもということ。それは俺が前の松川町長に聞いたけど、これを3回やったという。時をおいては時をおいては、ある一定

期間で。そうして統合をしたということだが、そうしたことも必要だかもしれないと思うんだけど。

- 前回は13年前です。
- 13年前というのはそれ以降は何もやってないということだら。
- 13年前に決めたことが実際に残っているが、何にもやってない。要するに地域でIターンなりUターンなり積極的に取り組みます。複式になる時には統合しましょうという、それまで結論を出しているんだけど、今それどころではない、統合ダメという。
- 住民側にしたって、こっちにしたって、言ったことがなかなか実行されてないという事があるじゃないか。落ち着いてしまえば放置される、また関わりたくない問題なので、ずっと置いてきたという事だと思うんだに。しかし、ここへ来ていよいよ目の前にいろいろなものが見えて来たので、現実的には。それだが根羽のような一村で、中学1つ小学校1つを何でも残さんならん話なら、一貫教育にして何でもかんでも残すという村長の考え方もある。だけどおらは、無くすのじゃなくて1つ残すという事なんだが、それが全体でできないという部分、向こうのひとまとまりとは状況が異なる話で、それ以前の話だと思っている。そうした中では売木も、山村留学を使ってでも何でもともがいておるんだけど、どうすることが本当にいいのか、統合がいいに決まっているんだけど、売木だって山村留学というけど、そんなに功を奏して効果が上がっている話かな。
- 限界らしいに話を聞くには。それでもせざるを得ない状況があるので。住民の中には何でその子のために税金を使っているんだという、強く出て来ている話もあるようだ。率直な所美馬さん言ってください。
- もう遅いと思う。自分の出た小学校が、それこそ伝統ある小学校が廃校になって、今県大の寮になったんだけど、そういう時代だと思う。ドーナツ化現象で町の中にも人がいなくなる。でも100人を切った段階でもう廃校が決定した。
- もう遅すぎると思います。ここで先延ばししても、同じことになるだけだし、僕が教育委員を受けて初めての会議に来た時に、そういいました。僕は責任をもってやって来たつもりです。先延ばしするのは無責任なのかなと考えています。
- 俺もそう思う時があるんだが。どうだな。
- 見方によっては遅すぎたという今の2人のような意見があるし、見方によってはここまでやって来れたんだから遅すぎたことは無いという見方もできると思う。私は阿南第一中学校の第1期卒業生なんです。その時は富草と和合と大下条が1つの中学になった。ただ名前だけで、校舎も人も全く一緒になることは無かった。私たちが卒業した3年後です。それがホントにできたのは。ですから自分に統合という体験がないので、何とも言えないんです。中学に入って他の地域の人たちと生活が始まるという経験が無い。小学校から同じ人数が中学にポンと上がるという、今の新野の小中学校の形態と同じ経験しかないんですから、その時は36人の2クラスありました。1学年72人。全く違和感を感じなかったもんですから、統合というものを論じる時に、自分の時の体験でそういうものの話しができるの良いんですけど、それができないでもどかしいところがありますし、だいたい教育に対して全く素人ですので、余計もどかしさも感じるんですけど、民間でいた感覚で言うと、こんなことはありえない。1つの自治体で6つの学校があるという事は、どうしたって合理性に欠けているということから、統合を判断する傾向が私にはあります。だから合理的だとか経済的だとか言うようなことが知りたくなくなってしまふ。だけど教育という面から考えたときに、ホントにたくさんの友だちがいる中で生活してきたことは、違和感もなかったし、中には頭の悪い奴もいたし、喧嘩したやつもいたが、たぶん7人とか8人とかいう世界で生活していたら、高校へ行ったときにどんな感覚で受け止めるのか、出て行った世界を、非常に自信がない気がする。あの当時でも話題になりましたか

ら、「へき地へき地」とこっちから出て行くと。

- 今皆さんおっしゃる意見の中で、遅すぎるというのは確かにそう思うんだけど、そういうやつは当然遅いのでしょうかないんだけど、これを今のこういう時期にやってもらったという中では、どこか反対派も全くさっき言ったように、厳しくなってきた分かっていて人が多くおる中では、ある程度何処かで落としどころというのを、今の言う時期的なものをここのことで、こうなるからこうだという、さっき言う複式だとかいう、その時には統合をせざるを得ないという事で、ある程度了解というかそういったことを浸透させてくという方法論というのはできないかな。
- それが必要だと思うし。
- 令和5年4月1日に統合。それで2年から4年で統合準備委員会。その準備委員会はどうでもいいが、その時にここでこうなるから、ここでは統合をするんですよ。それ以上無理ですよ。そういう落としどころで理解をさせるという、「理解をした。」とは言わんけど、そういったような何か一つのものを作るのは、事実認識として、町はこういう考え方だと出せるようなものではできんらか。
- 要するに複式なる、お金がこれだけかかる、町で費用をこれだけ出さなきゃならん、そういう現実を突きつけられた時に、たぶん最後通知に近い状態だとも思いますし、そういうことを待っていてそういうのを出して渋々納得する人と、実はそうじゃない人が他にいるもんでまた厄介だ。そこをちょっと無視すれば、落としどころを持っている北朝鮮とトランプさんみたいに、どこかで折り合い点を早く見つけたいと思っている人はたくさんいると思います。今反対している人の中にも、何とか俺の反対の口を封じてくれと思っている人。
- 教育委員会の考え方としては、考え方は統合は必要だし町長も必要だということとで終わっちゃうら。でなくて、一步踏み込んで、この時にこうなるからこれをもって統合は行うという事でご理解を頂きたいというような話に持って行くという落としどころはできないか。それはそんな話ではないと、統合はいらんと言っているのもそんな話は無理ということなのか。
- 町長の言う事はよくわかる。その落としどころが、キチンと数字なりなんなりで示されればそれほど良いものは無いんだけど、それが7年行っちゃうもんでそれでいいのか、ということ。要するに令和7年が複式になるのでそれでいいのかということ。
- 今言う事をとらずに置いといて、またいつやるのということがないまま行く訳だら。人は減っていくは、複式になるはというが、いよいよ向こうが参ったと言うまで、根羽やあれみたいに1人になったってやるというまで泳がせておるということか。
- 私言わせてもらっていいかな、要するに1月から2月に全体なり地区に行って説明会や意見交換をしまして、そこへ行った感触で、絶対100%どうこうというのはできないので、感触で「だいたい新野地区でも半々なりちょっと賛成をしてくれる人間がだんだん多くなってきたな。」というようなところを見計らって、判断してもらわないと、というふうに考えています。だからそこら辺のところは、100%一致できたので（合意できたので）やりますというところへ行かないと思いますので、そこのところは首長の判断、首長の権限で良しとなればやるという考え方でおります。どうしても全体なり、地区へ行って話をして「これはもう新野地区は大半が反対で全然だめだと言えば今の話へ持って行くが、そうはならないと思う。
- そうはならないとは。
- こちらの意向を説明すれば、ある程度の方は渋々でも納得してくれるんじゃないかな。そういう気持ちではいます。そしたら即、いろいろ説明した結果こうですと町長に報告して、極端な話し、統合は、あり方検討委員会でやって、答申を町長に出して、パブリックコメントをとって、そして教育委員会で話をして、それである程度こういう方向でと決まったら、じゃ

あこういう方向で行きますと言っても構わないと思うんだけど、町長の立場から言えばちょっと惨いと思うので、その考え方をまた説明をしてご理解をしていただく。一応、地区にご理解を頂く説明をしましたので、じゃあここで遅々として統合の方向で町長に決断していただきます。そういうことだと言ってもらったらいいいのかなと思っています。

- これ今回やってもらったものでこうなってきたが、やらずに居れば差しさわりがないでいいが、どこかで何かをやりにやわかってこない話なので、決してこれは無駄でなかったと思うんだけど、そう言うことだと俺も議会側と話してみる。
- こちらで話してもいいかどうか、町長さんが話をしてもらえば全然関係ないが、要するに議会側へ「統合について少しは真剣に考えてくださいよ。」ということ。
- それは私の方から話をしてもいい。
- あと町長が言われた時期的なものが必要なら、ここに書いてある令和5年の4月というのは1つのポイントとなる。
- 5年というのは何か。
- 周知をして説明をして、そして統合に向けてのいろいろな課題・問題点がたくさんあるので、それを話し合っていれば2年にかかるだろう。
- ああそう。期間的なもので2年から4年はいるからだから5年になるということ。いわゆる準備期間に3年かかるということ。
- 統合になる前の年は、県から先生が1名加配になると思うので、その先生を含めて統合に対する検討ができると思う。
- 統合できたとすれば、5年には何人になるのか。
- 15人かな。今の1・2・3年が8人だから6年後には中学生8人になることになる。
話は違うが、箕輪町、町民が2万5千人の箕輪町は、中学が1校しかない。1年生がこの間来たんだけど、1年生が270人だ。そういう町で2万5千人でそう学校6校と中学1校を維持していくのと、片や4千500人の阿南町で、6校を維持していくのと、普通に考えたときに、その分子供にお金で返せていけるのかと考えたときに、難しいと思う。学校の現場を飯田市とか阿南町とか阿智村とか言ったときに、ホントに行政によって教育にかけるお金って全く違うと感じるんだけど。阿智村って人的にも物理的にも、ものすごく予算を確保してくれるところで、資金があるかどうかというのは分からないんですけど、いろんな場面で子どもに還元されているんです。放課後学習が確保されているとか、図書館もバーコードで処理されているとか、具体的に子供に還元されているのは阿智村だと思う。子どもにバックしていく時代だと思う。先生たちがいつも図書館の管理が難しいとおっしゃるんですけど、9年前には阿智村はバーコードになっていて、子どもが自分で行って本を借りたときに、すぐ誰が借りたとしてその場でわかる様にほぼ10年前になっている。お金があるないに関わらずそういうことをするのだったら、中学は1つの方が子どもに還元ができると思います。
- 中学が一つになればそのくらいできると思います。
- 阿智には小中はいくつあるのか。
- 中学は1つです。小学校は4つかな。
- (人数予想表を見て) こうしてみると令和7年から人数が少なくなるな。その前に統合ということになる。

- ついでに予算編成の1枚目の一番下のところ。ここだけはよろしくお願ひしたいと思います。
- おらは高いんじゃないの。
- 一番安いんです。この間も校長さんから言われたんだけど、安くて町費の先生がもう来てくれないって。講師頼んでも県と比べられちゃうと。だからぜひ県講師並みにお願いしますと書いてありますけど、ぜひお願ひしたい。近隣で一番低い。低いと言っても手当とかいろいろあるので、一律に県と同等にというのははっきり言って無理だ。だけどこの辺の手当は出すで、基本給だけは全て県並にしてもらって、手当もそれなりに付けてもらえるとありがたい。そこだけぜひお願ひしたいと思います。今人事が始まっているので、学校の校長さんが町費の先生を引っ張って来るのに、非常に困っている。
- 喬木はいいのか。
- 阿智はいい。
- それらのデーターはある。
- そうすればその他という事で何かございましたら。
- 給食センターの話は聞いた。俺から言うが、いま2人でやってくれているが、〇〇さんも来年やめる予定だ。シダックスもいろいろ探しているがいないという。新野の中でいない。ちょうどクーラーを設置しんならんし、たまたま教室と一緒に設置できなかったのも、その時に付ければよかったが、又改めて設置すれば2000万円ほどのはなしになって、クローズアップされる問題になるのだが、新野がそういうことになるのと設置しなくてもいいということになるし、だが下から人を上げてもらって継続させて、設置しんならんという話もある。だがこの時期にそれを言うと、畳み込みをかけるという話しになるので、来年1年かけてどこかでPTAや親御さんにも理解を頂かんといかんと思っている。設置するんなら人がおらんじゃなくて、募集をかけて、おらないなら下から人を上げてやらにゃしょうがないと思っている。小学校が無くなる話じゃないもんで。
- ただ食数は70食くらいしかない。結局、食材が割高になるとか、メリット・デメリットで考えると、大変なようだと言っていました。
- それだが全部無償化にせよと言っているくらいだから。
- とんでもないです。
- ちょっとそんなことがありますので、ご承知おきください。また相談します。
- それじゃ他にございますか。

6 閉会

- 無いようですので、それでは以上をもちまして、第2回の阿南町総合教育会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。